

# 高精度チップアッテネータ

## ■PAT シリーズ Wタイプ

### 特長

- ・減衰器素子1個で高性能な減衰特性を実現
- ・周波数帯域が広く、異なる複数周波数への対応が可能
- ・中心に信号端子、両端にグラウンドが配置されており、コネクタへの組み込みが容易

### 用途

- ・同軸型アッテネータ
- ・測定器付属アッテネータ



### ◆品名構成

## PAT 3042 - C - 3dB - A - T1

部品記号

形状：PAT3042, PAT4556, PAT3060H

インピーダンス：C=50Ω

T=Tape, B=Bulk()は Tape数  
梱包欄参照

減衰量許容差

減衰量

### ◆定 格

形 名	PAT3042	PAT4556	PAT3060H
減 衰 量	0-10(1dB step), 16,20dB	0-10(1dB step), 13,16,20dB	1,2,3,5,6,10dB
減衰量許容差	表1参照		±0.5dB
インピーダンス	50Ω(C)	50Ω(C)	50Ω(C)
V S W R	<1.1(DC-2GHz) <1.2(2-5GHz), <1.3(5-10GHz)		<1.2
使用周波数	DC ~ 10GHz		DC ~ 6GHz
定格電力	250mW	500mW	5W
定格使用温度	70℃		
使用温度範囲	-55℃~+125℃		
梱 包	50pcs/袋(B) 1,000pcs/reel(T1) 2,000pcs/reel(T2)	50pcs/袋(B) 1,000pcs/reel(T1)	100pcs/袋(B) 1,000pcs/reel(T1)

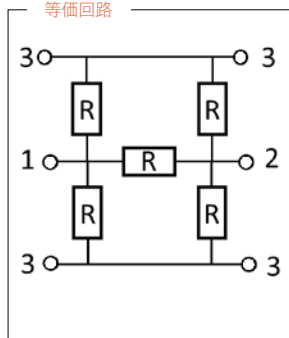
#### 減衰量許容差

減衰値	ランク	DC~2GHz	2~5GHz	5~10GHz
0~10dB	A	±0.1dB	±0.2dB	±0.4dB
0~10dB	B	±0.2dB	±0.3dB	±0.5dB
16,20dB (13dB)*	B	±0.2dB	±0.3dB	±0.5dB

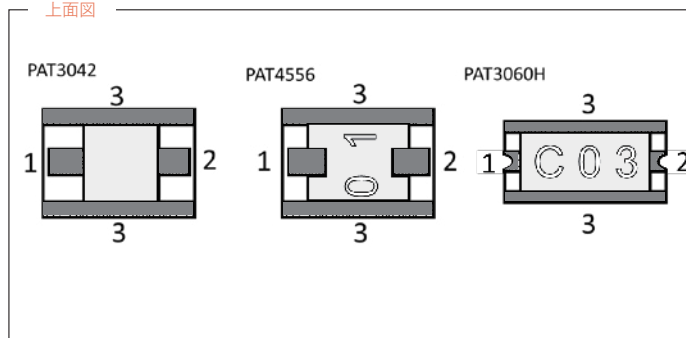
\*PAT4556のみ

### ◆等価回路と端子構成

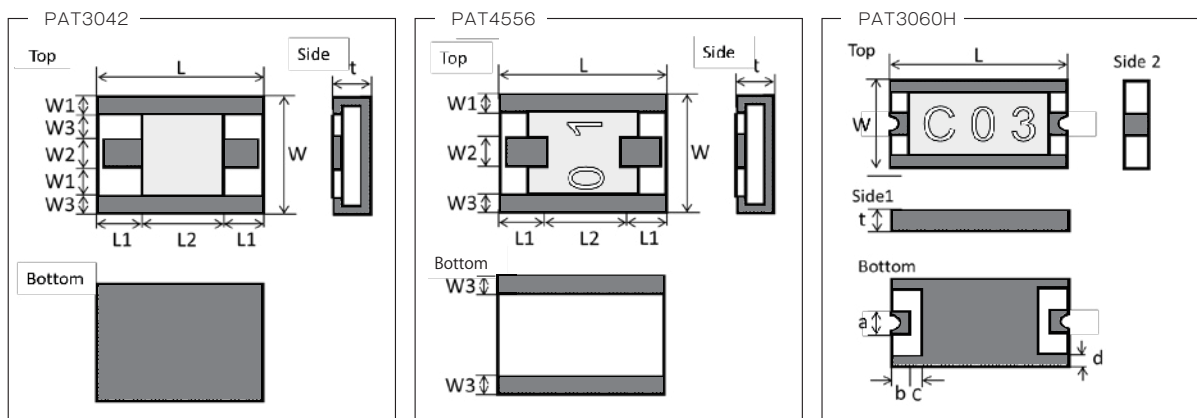
等価回路



上面図



## ◆外形寸法



PAT3042						
記号	0dB	1dB	2,3dB	4,5,6dB	7,8,9,10dB	16,20dB
L	4.2±0.20					
W	3.0±0.20					
t	0.8±0.15					
W1	0.40±0.15	0.30±0.15	0.40±0.15			
W2	0.66±0.10	0.66±0.10	0.90±0.10			
W3	0.77±0.10	0.85±0.10	0.65±0.10			
L1	—	1.90±0.20	1.90±0.20	1.75±0.20	1.60±0.20	1.15±0.20
L2	4.20±0.20	0.30±0.20	0.30±0.20	0.60±0.20	0.90±0.20	1.80±0.20

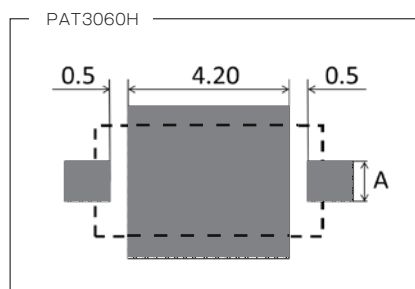
(unit : mm)

PAT4556		
記号	0dB	1 ~ 20dB
L	5.60±0.20	
W	4.50±0.20	
t	0.80±0.15	
W1	0.60±0.10	
W2	0.64±0.10	1.3±0.10
W3	0.60±0.10	

PAT3060H	
記号	値
L	6.00±0.20
W	3.00±0.20
t	0.70±0.15
a	0.80±0.15
b	0.45±0.10
c	0.50±0.10
d	max 0.5

(unit : mm)

## ◆推奨ランドパターン



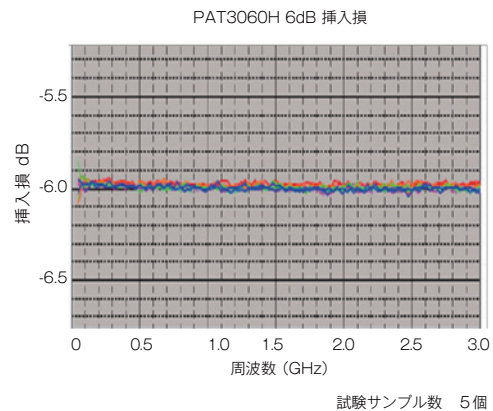
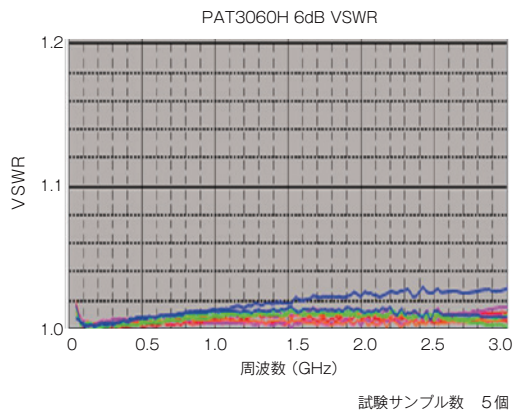
基板材質	端子幅 A
ガラスエポキシ基板 t=0.6mm	1.07mm
テフロン基板 t=0.6mm	1.52mm

・PAT3042/PAT4556 の使用方法については次ページの使用方法を参考にしてください。

# 高精度チップアッテネータ

## ■PATシリーズ Wタイプ

### ◆高周波特性（測定）

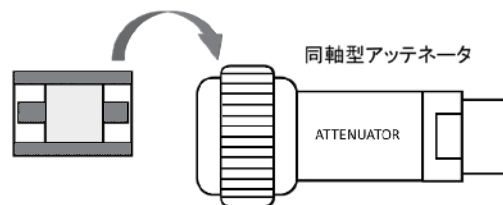


### ◆使用方法（例）

本シリーズの形状は、同軸型コネクタの形状とマッチして使用しやすくなっています。

この場合は中心胴体に信号端子を圧着またははんだ付けします。また、外周部と素子のグランド部をはんだ付けして使用します。

内部に入れることに適した構成



### ◆負荷軽減曲線

